

『颯々』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

## 平成31年3月 長い歴史に幕を閉じる 地域に支えられ地域とともに 西原小学校

上野原市立西原小学校の閉校にあたり、ご多用にもかかわらず特別寄稿をお寄せいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございます。



上野原市立西原小学校は、平成31年3月に閉校することとなりました。4千人を超える卒業生を輩出し、地域のつながりに大切な役割を担ってきた本校の閉校は、関係各位に万感の思いを持って受け止められていることと思います。

ここで、この紙面をお借りし、本校のいくつかの特色ある活動をご紹介します。一つ目は「お茶摘み・お茶作り」です。西原地区では、自分の家で飲むお茶を自分の家で作っていました。地域学習の一つとして、地域の方の畑から茶を摘み、煎るという貴重な体験をさせていただきました。

二つ目は「グラウンドゴルフ」です。地域のお年寄りのみなさん（なかよし会）に、月の第2、第4金曜日の午前中グラウンドをお貸ししています。年に6回ほど児童と一緒に活動させていただきました。お年寄りのみなさんと児童の交流が深まるとともに、1・2年生が畑で育てたトウモロコシを使って作ったポップコーンを味わってもらったり、昔のくらしや遊びなどを聞いたりするような交流も生まれました。三つ目は「ふるさと祭り」への参加です。地域のお祭りで、踊りや太鼓を披露しています。今年は、地域の三頭太鼓さんと一緒に演奏させていただきました。また、地域の方のご指導の下、花壇で育てた藍を使った藍染めの品や、地域の風習である「門男」を描いた缶バッチを、販売する体験もさせていただきました。

ここ何年間は、児童数が少ない状態での学校運営で、課題もありましたが、柔軟な教育課程が組みやすいという利点を生かし、地域との深い関わりを実現することができました。西原小学校は閉校しますが、西原地区の人と人との交流の要の一つとして、これからも、培ってきた交流や跡地が活用されていくことと思います。



## 地域の青少年支援を目指すネットワークづくり！！

### 南北都留教育相談ネットワーク会議

南北都留地域推進連絡協議会では、平成31年2月6日(水)に「第3回南北都留教育相談ネットワーク会議」を、都留市ふるさと会館研修室において開催しました。今回は、総合教育センター都留こすもす教室と、富士河口湖町立教育センターからの提案をもとに、研究協議が行われました。

実践発表では、都留こすもす教室から「きれめのない支援をつくる」をテーマに適応指導教室の役割について説明があり、各市町村での対応方法について活発な意見交換がされました。

次に、富士河口湖町立教育センターから業務説明と不登校児童、家庭に各機関と連携して支援を行った取り組みについて報告され、きめ細かい対応の様子が分かりました。

また、県内外の不登校に関する取り組みについての情報も提供されました。最後に次年度に向けた確認がされ、地域をはじめ各機関のネットワークの必要性を再確認する有意義な会議となりました。



## まなびの活用をめざした！！

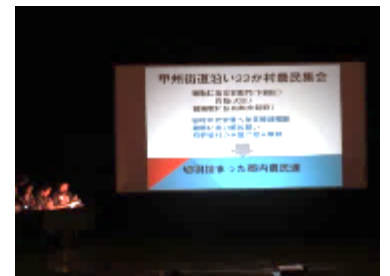
### 山梨ことぶき勸学院 学習活動全体発表会

山梨ことぶき勸学院では、1月29日(火)に学習活動全体発表会を開催しました。当日は、都留拠点の南都留教室・北都留教室を含む県内6つの教室に通う勸学院生が山梨県立文学館 講堂に集い、各教室の代表者によって今年度の学習の成果や活動状況が発表されました。



[南都留教室の発表]

南都留教室では、「御師のある町『富士吉田』衣・食・住の世界を求めて…」をテーマとして、発表しました。古くから人々の信仰の対象となってきた富士山、江戸時代に盛んになった富士講とその拠点となる御師について、衣・食・住の観点から、分担して調べ発表しました。新たな視点により、富士山についての学びが深まる内容でした。北都留教室では、江戸時代の天保年間、郡内地域で起こった、幕藩体制を大きく揺るがすことにもなった日本史に残る大きな一揆「郡内騒動」について発表しました。古文書等の文献で調べ、その舞台となった場所を実際に訪ねるなかで、一つ一つ丹念に調べた、当時の農民の生活、一揆にいたるまでの経過を語りで再現しました。両教室の発表とも地域の歴史について、より深く学び、改めて考える貴重な発表となりました。



[北都留教室の発表]

山梨ことぶき勸学院では3月12日(火)の卒業式をもって、今年度の活動を終了します。現在、来年度の受講者を募集しています。詳しい内容・問い合わせは、下記連絡先までお願いします。

☆願書の配付・受付 富士・東部教育事務所

☆問合せ先

山梨県教育庁社会教育課 成人・家庭教育担当 0555-23-1772

または 富士・東部教育事務所内 都留拠点 0554-45-7335

## 大月市森林組合との連携 椎茸菌の植え付け作業!!

### 鳥沢小学校 『環境学習』



鳥沢小学校(大石太校長)では、特色ある教育活動として全学年で学校林を使った環境学習に取り組んでいます。その一環として、1月18日(金)に大月市森林組合(棚本佳秀組合長)から講師をお招きして、4年生が椎茸菌の植え付け作業をしました。

当日は、風が少し冷たいものの、雲ひとつない好天の中、活動することができました。まず、ナラの木にドリルを使って穴を開ける作業です。木の太さにもよりますが、1本あたり20~30くらいの穴を開けました。もちろん、子ども達は初めての体験で緊張しましたが、講師の指導の下、

上手に穴を開けることができました。次に、菌を植える作業です。木槌を使いナラの木にコルク(菌)を打ち込みます。角度を合わせるのが意外と難しかったようです。菌を植えた原木は毛布をかけて、春先まで寝かせておきます。

子ども達の植え付けた菌から椎茸が、本格的に発生してくるのは再来年の春頃です。6年生の春になります。自分たちが育てた椎茸で家庭科の調理実習をするのが今から楽しみです。



## 富士吉田地区小中高連携連絡会議



富士吉田地区小中高連携連絡会議は、小中高の連携において課題となっている「小1プロブレム」「中1ギャップ」や「中高の連携した生徒理解」等の様々な問題を打開するために平成20年に発足。今年で11年目を迎えます。また、平成22年より養護教員部会を立ち上げ、「不対応の児童・生徒の現状と対応について」をテーマに小中高の連携を深めてきました。

本年度は、『養護教員部会』の年2回の情報交換を継続するとともに、新たに市の行政担当者と小中高校長代表者による『教育課題部会』を2回実施し、各学校長による全体会も2回の開催となりました。

2月7日(木)には、下吉田コミュニティーセンターにおいて、富士吉田市教育長、富士吉田市立教育研修所長、各小中高の校長、教育事務所地域支援スタッフが出席し、『第2回富士吉田地区小中高連携連絡会議』が開催されました。連絡会議では、今年度の活動報告、来年度の方向性についての検討がされました。その後、行政や地元企業と情報交換したことも取り入れ、これからの富士吉田市を創り出す児童・生徒にどのような力をつけていってほしいのかについて意見交換が行われました。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841

# 明日を拓き、未来を創る!!

## 富士北稜高等学校 第12回生徒発表会

富士北稜高等学校(羽田孝行校長)では、2月9日(土)に教育関係者、行政、企業、NPO法人、近隣の中学生、保護者、同校生徒らが出席して、「第12回生徒発表会」を開催しました。1年次生は「職業人

調べ」「ライフデザイン」、2年次生は「地域をみつめて」「かえる組としての取り組み」について、それぞれの年次代表が発表しました。展示見学の後、3年次生の6つの系列の代表が今年1年間の学習や活動の成果を発表しました。いずれの内容も、教科等の枠を超えた横断的、探究的な学習、生徒の興味・関心に基づく学習など、創意工夫された総合学科の特性を活かした教育活動を実践しているものでした。

また、会場には各系列と文化部の作品が展示され、参加者は展示物一つ一つに感心しながら見学をしていました。各系列の発表内容は次のとおりです。

教養系列	『非科学的な現象を科学的に検証してみた』～怪奇現象について～
福祉健康系列	『福祉健康系列で学んだこと』～人との関わり方*介護編*～
建築デザイン系列	『課題研究での取り組み』
電気情報系列	『ゲーム制作と定点観測カメラ』
機械テクノロジー系列	『チャレンジ2018』～地域の「ものづくり」産業を支えるエンジニアを目指して～
総合ビジネス系列	『地域社会に密着した実践的な取り組み』

# 3年ぶりの王座奪還！ 県下の理科好きの集いで優勝!!

## 吉田高校 第8回科学の甲子園 全国大会出場!!

吉田高等学校(高梁谷誠校長)理数科2年生8名が、平成30年12月22日(土)に行われた「第8回科学の甲子園山梨大会」で優勝し、全国大会に出場します。

科学の甲子園は、高等学校の生徒チームを対象として、理科・数学・情報における複数分野の競技を行う取り組みです。国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が平成23年度に創設し、全国の科学好きな高校生が集い、競い合い、活躍できる場を構築しており、今年で8回目の開催となります。

去る11月には山梨大会の第1ステージが行われ、県下44チーム・総勢279名の高校生が参加し、筆頭競技及び総合競技に挑みました。筆頭競技では物理・化学・生物・地学・数学及び情報の6分野から12問が出題され、総合競技では単力を使用して物的に飛ばす装置を製作しました。吉田高校Aチームは得意な数学と化学で満点をたたき出し、第2ステージに進出。他校の4チームとともに化学・生物の2つの実験及びその考察・口頭発表を行い、見事優勝を勝ち取りました。吉田高校の山梨大会での優勝は3年ぶり3回目で、喜びもひとしおです。参加した生徒の一人は、「その時ある知識で事象を類推するのが楽しかった。」と振り返ります。

全国大会は3月15日(金)より4日間の日程で、埼玉県さいたま市で行われます。生徒たちは、「これぞ『化学』と思えるものに出会いたい。」「勉強の延長線上にある科学を体感したい。」「トップレベルの相手と戦って刺激を受けたい。」と意気軒昂です。全国大会では一つでも上の順位を目指し、良い報告ができるよう、頑張ります。

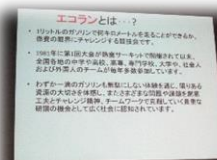


ここで見つかる何かがある!!

## 都留興讓館高校 教育実践公开发表会

都留興讓館高等学校（中山真男校長）では、2月20日(水)に都留市都の杜うぐいすホールにおいて「平成30年度教育実践公开发表会」を開催しました。

当日は、1・2学年と英語理数科が教育実践発表を、そして工業科の3年生が、専門課程で学んできた内容をもとに、1年間取り組んできた課題研究の成果を発表しました。開会式の中で校長先生から「教育実践公开发表会に向けての取組は、これからの高校生が社会にでて必要な、自ら課題を見つけ、解決していく力の育成の機会だと捉えています。」とのお話がありました。この後行われた発表は、それぞれの学科の特性を生かした専門性の高い、生徒の興味・関心等に基づく、創意工夫された内容でありました。また、動画の活用など質の高いプレゼンテーションも見応えがありました。会場のロビーでは、生徒の作品が展示され、日頃の生徒と先生方の取り組みの成果を見ることができました。当日の発表内容は次のとおりです。



「機械工学科 「エコランカーの製作」

### 教育実践発表

1 学年 「エネルギー教育研修体験発表」  
2 学年 「修学旅行 沖縄」  
英語理数科 「課題研究発表」

### 課題研究発表

電子工学科 「3D プリンタ活用  
Zigbee ラジコンカーの製作」  
制御工学科 「ドローンの製作と制御」  
環境工学科 「コンクリートでものづくり」  
機械工学科 「エコランカーの製作」

よい速く よい高く よい強く !!

## 『明日の風』 アスリート実技講習会

『明日の風』 アスリートクラブおよび北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）主催「第6回 明日の風アスリート実技講習会」は、2月23日(土)に大月市勤労センター体育館で開催されました。2ヶ月ぶりの講習会でしたが、約50名が参加、見学をしました。ウォーミングアップ後、走りの色々なメニューで動き作りを行いました。それぞれの運動の「動き」を確認しながら、基本を中心としたトレーニングとなりました。次に、体力測定を5種目実施しました。参加者は指導者のアドバイスを熱心に聞きながら測定に励む一方、常に笑顔と歓声が絶えない講習会となり、楽しんでいる様子が伝わってきました。また、最後に交流リレーも行われ、他学年や他校の皆さんとの交流が深まりました。3月9日(土)には今年度最後の「第7回アスリート実技講習会」を予定しています。

今年度もたくさん子どもたちが、「アスリート実技講習会」を通して貴重な経験をすることができました。子どもたちにとっては、たくさんのスタッフの指導により技術を向上させることができたとともに、他の小学校の仲間や中学生の先輩との交流の場にもなりました。ぜひ来年度も多くの方に参加していただき、たくさんの方を楽しく学んでほしいと願っています。



## グローバル・リーダーの育成 SGH アソシエイト成果発表会 に向けて !

### 富士河口湖高等学校 話し方講座 『聞き手にどう伝えるのか』



富士河口湖高等学校（田口尚弥校長）は、文部科学省よりSGH（スーパーグローバルハイスクール）アソシエイトとして指定を受け4年目を迎えました。1年生は総合的な学習の時間に、国際的な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決能力等を身につけ、将来国際的に活躍できる人材（グローバル・リーダー）の育成を目指して探究学習に取り組んでいます。4月に地域の課題（テーマ）について①安全防災・環境保全②人口減少・西麓活性化③観光振興・国際交流④文化教育⑤社会福祉の5グループに分かれ、それぞれを6～7つの班に編成し、学習を開始しました。

生徒たちは、地域の方の講演やフィールドワークを通して、地域について「何となく知っている。」から「地域の現状（課題）について知り、高校生としてできることをしたい。」という気持ちに変わってきました。

1月30日（水）には成果発表会に向けて、YBS山梨放送のアナウンサー 櫻井和明氏を講師にお招きし、「聞き手にどう伝えるのか」をテーマにご講演いただきました。櫻井氏からは、相手に話を伝えるペース、声の質によっての伝わり方の違い、原稿を分析して声の高さやスピードを考えていく、声の方向や話す姿勢、飽きさせない話の順序等、お話しいただきました。効果的なプレゼン方法のポイントが次から次へと説明され、パワーあふれるお話しに、生徒たちは熱心に聞き入り、メモを取っていました。講演後には積極的に質問が出され、充実した講演会となりました。成果発表会に向けて生徒たちのモチベーションもあがりました。

また、1年生が地域に関する探究学習、2年生は1年生で学んだことを生かし、沖縄修学旅行を通しての異文化理解学習の成果発表会を次のとおり開催します。



#### 《「平成30年度「富士河口湖高等学校 総合的な学習成果発表会」》

- |          |               |             |                     |
|----------|---------------|-------------|---------------------|
| 1. 日 時   | 平成31年3月13日（水） | 13:15～13:30 | 受付（体育館入り口）          |
| 2. 場 所   | 富士河口湖高等学校     | 体育館         |                     |
| 3. 発表会次第 | 13:35～        | 開会          |                     |
|          | 13:40～14:25   | 2年生発表       | 『沖縄修学旅行の事前事後学習のまとめ』 |
|          | 14:40～15:40   | 1年生発表       | 『地域に関する探究活動』        |
|          | 15:40～        | 講評          |                     |

## 来年度の地推協主要事業の予定

北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）および南都留地域教育推進連絡協議会の2019年度主要行事予定は次のとおりです。詳細については、改めてお知らせします。

- 北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）総会・教育講演会  
2019年7月5日（金） 受付開始：午後1時 会場：上野原市文化ホール 2階会議室
- 南都留地域教育推進連絡協議会総会・講演会  
2019年6月19日（水） 開始：午後2時 会場：富士ふれあいセンター
- 南都留地域教育フォーラム  
2019年11月1日（金） 開始：午後1時30分 会場：下吉田中学校